

勝山市体育館 ジオアリーナ 落成



勝山市民待望の 体育館が完成

5月28日、完成までに約2年の歳月を費やし完成した、勝山市体育館ジオアリーナの落成式が市民や関係者800人が参加し、盛大に行われました。

勝山市体育館ジオアリーナは、県内2番目の大きさを誇り、バドミントンコートなら12面が取れる広さで、観客席は1000席あります。2階には、市民の方が気軽にランニングができる200mのトラックやトレーニングルームが完備されています。更に有事の際の防災拠点施設としての機能も併せ持っています。式典に先立ち来賓や関係者がテープカットを行い、集まった市民がそれと同時に風船を放ち体育館の落成を祝いました。

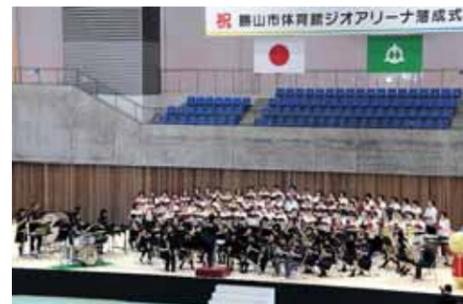
その後、式典が行われ、山岸市長が「スポーツの拠点として、多くの方々に愛される体育館となるように、また、ジュニア選手達がこの体育館で育ち、全国・世界に羽ばたくアスリートに成長する事を願っている。」と力強く式辞を述べました。



式辞を述べる山岸市長



勝山高校の太鼓の演奏



市民合唱団による合唱

300人参加の 壮大なアトラクション

続いて行われたアトラクションには、勝山高校日本文化部の「和太鼓演奏」や山口茜さんをはじめ4人の勝山市出身のアスリートからのビデオメッセージを紹介、市民合唱団と勝山高校吹奏楽部・勝山ウインドアンサンブルのコーラによる合唱、フィナーレに、市民ダンスチームによる「国体ダンス」を踊り式典を終りました。



会場が一体となった国体ダンス

勝山市体育館ジオアリーナは、平成30年福井しあわせ元気国体バドミントン会場になるのをはじめ、様々なスポーツ大会・イベントの会場となる予定です。

国体・スポーツ課（ジオアリーナ内） ☎88・8127



福井しあわせ元気国体 福井しあわせ元気大会 2018

第73回国体体育大会 第18回全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ

競技紹介 II その1 II

当市で行われる競技を2回にわたり紹介していきます。今回は正式競技の2種目を紹介します。

バドミントン

ラケットを使って、シャトル（羽根、シャトルコック）をネット越しに打ち合う競技です。シャトルの重さはわずか5gで、自分の打ったシャトルコックが相手のコートの外に落ちたり、自分のコートの床に落ちる前に自分の体にシャトルが当たれば失点（フォルト）になります。21ポイント×3ゲームで、サーブ権の有無にかかわらず、ラリーに勝った時にポイントになるラリーポイント制です。20点オールになった場合は、2点差をつけるか30点に達した方が勝ちです。競技は1チーム3人の団体戦で行われます。

ダブルス・シングルス・シングルの順に行い、先に2勝したチームが勝ちとなります。

一流選手がスマッシュしたときの初速スピードは、350km/hにもなるほど、迫力のある競技です。



フレイ射撃

クレー標的（石灰などで作られた直径11cm、厚さ2.5cm、重さ105g程度の円盤）を空中に飛ばして、それを散弾銃で射撃し、その命中数によって順位を競います。張り詰めた緊張感と命中したときの爽快感が魅力の競技です。

トラップ

標的が射手の前方から左・中央・右方向のいずれかに射手のコール（掛け声）によって放出されます。射手は横一線に配置された5か所の射台を順に移動しながら射撃します。1枚の標的に対して2発まで撃つことができ、1発目で当てても、2発目で当てても点数は同じです。

スキート

標的が射手の左右から交互または同時に飛び出します。射手は2つの放出機の間半円形状に設置されている射台を順番に移動しながら射撃します。1枚の標的に対して1発だけしか撃てません。

「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会（国体・スポーツ課内） ☎88・8127

第66回 全日本実業団 バドミントン選手権

開催

全日本実業団バドミントン選手権が、勝山市で50年ぶりに開催されます。

当市出身の山口茜選手、松川直弘選手が出場します。また奥原希望選手をはじめとするリオデジャネイロオリンピック代表選手も多数出場します。

5日間の白熱した闘いをぜひ生でご覧ください。

とき／平成28年

6月29日(水)～7月3日(日)

決勝／7月3日(日) 10:00～

会場／勝山市体育館ジオアリーナ

福井市体育館

北陸電力福井体育館フレア

入場無料／会場で自由に観戦できます

国体・スポーツ課（ジオアリーナ内）

☎88-8127

厚生労働大臣杯
66 全日本実業団
バドミントン選手権大会
2016.6.29(水)～7.3(日)
勝山市、福井市、永平寺町
勝山市体育館ジオアリーナ、福井市体育館、北陸電力福井体育館フレア